

◆ソシオネクスト：電波式測距センサーが2021年「Best of Sensors Award」を受賞

株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) の電波式測距センサー「SC123xシリーズ」が、米国 Questex Sensors Coverage が主催する「Best of Sensors Awards」において、2021年の「Embedded Technology」部門を受賞した。授賞式は9月23日、イベント「Sensors Expo and Conference」(会場:San Jose McEnery Convention Center, カリフォルニア州サンノゼ)の中で行われた。



「Best of Sensors Awards」は、センサー業界を牽引する最先端技術の進歩に貢献し、成果をあげた企業に毎年贈られている。

ソシオネクストの電波式測距センサーは、複数の送受信アンテナを1パッケージに内蔵し、他のセンサーでは得られない多くの機能とメリットを提供する。

長谷川照晃 (ソシオネクスト IoT & レーダーセンシングビジネスユニット長) : 「このような名誉ある賞に選ばれたことを大変うれしく思います。当社スマートセンサーチームは、低消費電力で豊富な特長を持つセンサーソリューションの提供とともに、様々な機能を超小型パッケージに集積して最新機器への搭載を容易にすることで顧客価値の最大化を追求します。」



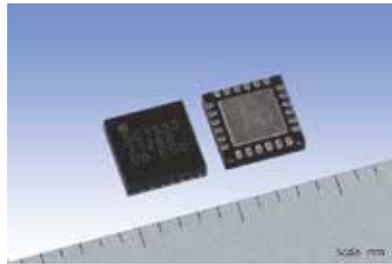
ソシオネクスト 電波式測距センサーに関する詳細情報
<https://www.socionext.com/jp/products/assp/radar-sensor/>

◆ソシオネクスト：ZETA 通信を利用したクラウドタグ「ZETag®」用 LSI を開発

次世代規格「Advanced M-FSK」をサポート、LPWA 通信で業界最高水準の性能を実現

株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.)、LPWA の ZETA 規格を創立した ZiFiSense、および ZETA 日本アライアンスの理事企業 テクサーは共同で、ZETA 通信を利用した新しいクラウドタグ「ZETag」向け LSI「SC1330」を開発した。SC1330 は次世代の ZETA 規格「Advanced M-FSK」変調方式に対応する信号処理部と RISC-V CPU を始めとする各種インターフェース機能を含むデジタル回路を1チップに集積し、小型・高機能・高性能および高品質を実現。SC1330 の量産開始は2022年を予定している。

Advanced M-FSK 変調方式は、ZiFiSense が開発した新しい通信方式で、エラー耐性の強化と高い電波利用効率により、同一感度の場合、通信速度が代表的な他社 LPWA 方式に比べて3倍、同一通信速度の場合は最大で5.3dB 感度が改善し、時速120kmの移動体から35kmの距離を伝送することができる。ZETag はこの特長を利用し



た、従来の一般的なアクティブ RFID タグでは対応できない用途を実現する新しい「クラウドタグ」。運送車に積み込んだ荷物にタグを取付け、高速道路のインターチェンジなどに設置したアクセスポイントと通信することで荷物のトラッキングを行う、といった使い方が可能で、物流におけるデジタルトランスフォーメーション (DX) を加速させる新たなタグとして大きく期待されている。

「SC1330」はこの ZETag 向けに開発した LSI で、LPWA 通信において業界最高水準の性能を実現した。代表的な他社 LPWA と同じ伝送速度で比較した場合で最大 5.3dB 感度が向上する。ソシオネクストが長年蓄積した RF 信号処理技術と SoC 実装技術により、CPU や各種外部インターフェース機能と信号処理部を1チップ化し、4mm 角のパッケージに搭載しました。小型化、部品点数の削減によりタグ製品への実装を容易にするとともに、品質・信頼性の向上にも貢献する。

SC1330 の量産は2022年の開始を予定している。また SC1330 を搭載した ZETag は ZiFiSense より同年に出荷が開始される見込み。

ZiFiSense 社は ZETA エコパートナーである中国鉄塔、中国交通通信と連携して、中国全土での ZETA ネットワークインフラを構築しており、物流貨物のアクティブ・トレーサビリティの実現を本格的に進めています。同社はすでに中国郵政向けの郵便物トレースサービスを広西省全域で展開しています。SC1330 は、今後の中国全土の物流ネットワーク構築において重要な役割を果たします。日本ではテクサー社が中心となり、アライアンスメンバー各社の協力で実証実験を進めている。

ソシオネクストは今後も ZETA 対応チップの開発を継続していきます。現在は Advanced M-FSK 対応で、双方向の通信にも対応する LSI の開発を検討している。

ソシオネクストは2021年10月27日より幕張メッセで開催された「通信・放送 Week 2021」内「5G/IoT 通信展」の ZETA アライアンスブースに出展し、SC1330 および Advanced M-FSK 技術について紹介した。

<https://www.5g-expo.jp/ja-jp/visit/visiting.html>

<https://www.5g-expo.jp/ja-jp/visit/visiting.html>

ZiFiSense について

ZiFiSense は2013年に英国のケンブリッジで設立され、業界をリードする低電力 IoT とソリューションのプロバイダーです。LPWA ZETA 規格を提唱し、スマートビルディング、物流、ファクトリーの分野に ZETA 技術を活用している。

テクサーについて

株式会社テクサーは2016年10月に設立したベンチャー企業で、ZETA 技術及び製品の日本総代理店、2018年6月に ITACCESS、凸版印刷、Qtnet と共同で ZETA アライアンスを創設し、現在グローバルで300社が集結し、ZETA の普及と活用を推進している。

記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。プレスリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

◆ソニー：立体的な音場に没入できる音楽体験「360 Reality Audio」の普及を加速

～ Amazon Music Unlimited でのヘッドホン対応による機器拡大や対応楽曲の拡充など～



ソニーは、没入感のある立体的な音場を実現する 360 立体音響技術を活用した音楽体験「360 Reality Audio (サンロクマル・リアリティオーディオ)」を楽しめる環境を広げている。

Amazon Music Unlimited における 360 Reality Audio コンテンツのヘッドホン再生の対応を開始した。

360 Reality Audio が準拠する国際標準 MPEG-H 3D Audio の Android 12 でのサポートが既に開始していることなどと併せて、対応機器の拡大がさらに進んだ。

また、ゴスペラーズや YOASOBI などの邦楽アーティストや、アリシア・キーズ、デュラン・デュラン、リル・ナズ・X、P!NK、ピンクフロイドといった洋楽アーティストの人気楽曲など 7,000 曲以上が複数のストリーミングサービスで楽しめるなど、対応コンテンツの拡充も進めている。

今後もソニーは、360 Reality Audio をクリエイターやアーティスト、音楽ファンに向けて広く提案し、その普及を加速させていくとしている。

1. 対応機器の拡大と普及に向けた環境整備

(1) Amazon Music Unlimited でのヘッドホン再生対応

Amazon Music Unlimited で配信されている 360 Reality Audio コンテンツの再生機器にヘッドホンが新たに加わる。全てのヘッドホンで 360 Reality Audio コンテンツを体感できるようになり、立体的な音場による没入感ある音楽体験をより幅広いシーンで楽しむことができる^{※1}。

詳細は Amazon Music Unlimited の下記 URL を確認のこと。

<https://www.amazon.co.jp/music/unlimited>



Amazon Music Artists and Label Relations グローバルヘッド アンドレ・ステイプルトン氏のコメント「Amazon Music を利用する多くのお客様に、臨場感あふれる 360 Reality Audio をこれまで以上に手軽に体験いただけるようになりました。360 Reality Audio は、まるで音楽の中に入り込むような画期的な体験

です。多くの音楽ファンに、360 Reality Audio の没入感ある立体的な音場でお好きな楽曲を聴いてほしいと願っています。」

(2) 360 Reality Audio が準拠する国際標準 MPEG-H 3D Audio の Android 12 でのサポート

360 Reality Audio の普及に向けて、Google 社が提供するプラットフォーム Android 12 において、360 Reality Audio を含む国際標準 MPEG-H 3D Audio のサポートが開始された。これにより Android 12 を搭載する機器のメーカーは、従来より容易に 360 Reality Audio の実装が可能となり、対応機器^{※2}の拡大が見込まれる。

(3) その他対応機器のラインナップ拡大

ソニーは、ワイヤレススピーカーやヘッドホン、スマートフォンに加えて、360 Reality Audio コンテンツの再生に対応したサウンドバー (HT-A7000) やホームシアターシステム (HT-A9) を発売するなど、対応機器の拡大を進めている。また、ソニーがライセンス提供をしている他社製のヘッドホン (オーディオテクニカ、ラディウス) やサウンドバー (ゼンハイザー)、AV プロセッサー (マッキントッシュ)、スマートスピーカー Amazon Echo Studio などの 360 Reality Audio 認定機器も順次発売されるなど、360 Reality Audio を楽しめる環境が広がってきている^{※3}。

※1: Amazon Music Unlimited 含む 360 Reality Audio 対応音楽ストリーミングサービスにおいて、全てのヘッドホンで 360 Reality Audio を楽しめる。なお、Amazon Music Unlimited では「Sony | Headphones Connect」アプリを使った音場の個人最適化は現時点では対応していない。

※2: Android 12 を搭載する機器の製造メーカーは、別途ソニーが提供する 360 Reality Audio ライセンスを受ける必要がある。

※3: 他社の発売に関しては、各社ホームページで確認を。

2. 対応コンテンツの拡充

(1) 対応楽曲数の増加

7,000 曲以上の 360 Reality Audio コンテンツが複数のストリーミングサービス^{※4}から提供されている。ゴスペラーズや YOASOBI といった邦楽アーティストから、アリシア・キーズ、デュラン・デュラン、リル・ナズ・X、P!NK、ピンクフロイドなどの洋楽アーティストに至るまで、幅広いジャンルの人気楽曲を配信しています。音楽ファンに没入感のある音楽体験を届けるために、今後も対応楽曲の拡充に取り組んでいくとしている。

※4: 国内では Amazon Music Unlimited、Deezer、nugs.net で配信しています。

アリシア・キーズ氏のコメント

この一年、音楽エンジニアとともに 360 Reality Audio のアルバム制作に情熱を傾けてきました。これまで音楽には愛情を注いできましたが、今回の制作で、改めて音楽性を徹底的に追求しまし



360 Reality Audio のコンテンツ例

た。曲を特徴づける要素ながら、ミックスの際に隠れてしまう細部にまでこだわり抜いた今回の制作過程は、私たちにとって忘れられない時間となっています。非常にすばらしいコンテンツになったと自負しています。Amazon Music から配信されるので、ぜひ聴いていただき、私の楽曲を愛していただければと思います。

デュラン・デュラン ニック・ローズ氏のコメント

大きな進化を遂げたオーディオのテクノロジーが登場する度に、その技術を使った音楽表現の可能性を探りたいと思うのですが、360 Reality Audio での楽曲制作の提案を頂いた際にはとても興奮しました。ニューアルバム『Future Past』の楽曲を360 Reality Audio にミックスしましたが、これまでヘッドホンでは体験できなかったような没入感のあるサウンドに感動しました。今後、デュラン・デュランの全曲を360 Reality Audio でお届けできるようにしたいと考えています。

ゴスペラーズ 北山陽一氏のコメント

今回の楽曲制作では、360 Reality Audio の特長のひとつである音源の配置を意識して、リードヴォーカルの音の位置が360度にどんどん動く様を楽しんでもらえるように仕上げました。「なるほど、こうしたか!」と、聴いて、楽しんでもらえたらと思います。

(2) 独立系アーティストへの360 Reality Audio コンテンツの配信サポートへの技術協力

ソニーは、ストリーミングサービスへの音楽配給を行うサービスプラットフォーム「Tully App」(ターリアアプリ)を運営するVertical Craft (パーティカルクラフト)社、およびそのプラットフォーム開発を行うEVEARA (エヴェアラ)社が共同で開始する、独立系アーティスト向けの360 Reality Audio コンテンツ配信サポートサービスに技術協力している。年内に開始予定の本サービス

は、独立系アーティストが制作した360 Reality Audio 対応コンテンツをTully にアップロードするだけで、コンテンツ管理やストリーミングサービスへの配信を可能にする。メジャーアーティストだけでなく、幅広いアーティストの楽曲配信を支援することで、360 Reality Audio コンテンツの裾野を広げていくとしている。Vertical Craft 社 配信のサポートに関するwebページ(英語のみ) EVEARA 社 配信のサポートに関する web ページ (英語のみ) 詳細は下記のURL よりご覧ください。

360 Reality Audio 公式サイト

<https://tullyapp.com/>



360 Reality Audio Developer サイト

<https://www.eveara.com/>



360 Reality Audio クリエイター向けサイト

<https://www.sony.co.jp/Products/create360RA/?j-short=create360RA>



※「ソニー」および「Sony」、並びにこのプレスリリース上で使用される商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーまたはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは商号です。

◆パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社：新たなリモートカメラ（PTZカメラ）ラインアップの提供開始について

4Kの高品質映像と独自開発モーターの滑らかな縦横への動き、最大24倍ズームで臨場感あふれる映像コミュニケーションを実現



※Futuresorce PTZ Camera Report 2020のGlobalでの売上金額のブランドシェアに基づいています。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社（本社：東京都中央区、社長：樋口泰行。以下CNS社。パナソニックグループの持株会社制への移行にともないパナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社は 2022年4月より、「パナソニック コネクト株式会社」に変わります。）は、新しいリモートカメラを開発し、ラインアップをリニューアルした。ニューノーマル下で加速したDX（デジタルトランスフォーメーション）への適応を急ぐ教育業界や企業にとって、オンライン会議のコミュニケーションの質は非常に重要。CNS社のリモートカメラは、世界で最も利用されており※1、東京2020オリンピック・パラリンピックの会場の国立競技場や東京アクアティクスセンターや放送局など、様々な業界のニーズを満たしてきた。組織の規模や求める性能に合わせて選択できる全5機種のリモートカメラ-4KインテグレートドカメラAW-UE80W/K、AW-UE50W/K、AW-UE40W/K、AW-UE20W/K、HDインテグレートドカメラAW-HE20W/K-を2021年度第4四半期より、順次発売開始する。

※1) Futuresorce PTZ Camera Report 2020のGlobalでの売上金額のブランドシェアに基づく。

コロナ禍においても社会活動を継続する為に代替的に始まったオンラインでのコミュニケーションは、急速に社会に定着した。場所の制約なく授業や商談が可能な環境が整う一方、オンラインのコミュニケーションに課題を抱える組織は少なくない。例えば、教育現場では、オンライン授業で黒板やホワイトボードの文字、参加者の表情が見えにくいことが、授業の習熟度に影響をあたえかねない。また、画面変化のない定点アングル撮影による映像は臨場感を欠き、学生の積極的な授業への参加や、双方向のコミュニケーションを損ないかねない。同様の課題は、企業のオンライン会議にも当てはまる。そして当面はオンラインとオフラインを併用するハイブリッド型の体制が継続するとみており、オンライン授業や会議におけるより質の高いコミュニケーションを実現するカメラの需要は高まると考えている。

CNS社が開発した新たな5機種のリモートカメラは、60年以上続くプロ用の放送機器開発のノウハウを活かした高精細な映像表現と、独自技術による新ダイレクトドライブシステムによる滑らかな縦横方向へのカメラの動きを特長としている。鮮明な映像と定点アングルでは得られない動きのある映像演出で、オンラインのコミュニケーションの質を高め、非対面でも臨場感を高めることを可能にする。それだけでなく、これまで撮影をした経験がなくても簡単に操作・撮影・管理することを可能にする製品も提供している。

CNS社製リモートカメラコントローラーや顔認証と人体検出で自動追尾を実現するソフトウェアなどとの連携で、利用者の授業や会議運営にかかる負担を減らす。さらには、セキュリティリスクを防ぐSRTプロトコルに対応しており、映像データの漏えいなどのリスクを軽減できるとしている。また、参加している人に圧迫感を与えないコンパクトなデザインや高い静音性は、授業や会議における集中力の持続に貢献する。

【特長】※2)

1. 安全で安定した映像コミュニケーションを実現

情報漏洩や映像の乱れを気にせず、高精細な映像で会議や授業に集中できる

- ・4Kの高精細映像で高い臨場感を実現※3
- ・光学式画揺れ補正でブレの少ない映像を撮影※4
- ・映像が漏洩しても復号されにくい強固な暗号化を映像データに施すことで高いセキュリティを担保し、安定した映像を送送するSRTプロトコルに対応※5
- ・広く一般的に使用されているオンライン会議アプリケーションに順次対応予定

※2) 各機種の特長はそれぞれの商品ページにてご確認ください。また、これらの特長は開発時点のものであり、今後変更する可能性がある。

※3) AW-HE20W/Kは、4KではなくFHD出力。

※4) AW-UE20W/KおよびAW-HE20W/Kには搭載されていない。

※5) AW-UE80W/Kには電子式画揺れ補正機能も付いています。AW-UE20W/KおよびAW-HE20W/Kは対応していない。

2. 様々な現場でフレキシブルに活用できる静音性とコンパクトなデザイン、充実した機能

会議や授業からイベントやコンサートまで、どんな現場にも対応して映像配信を可能に

- ・新ダイレクトドライブモーターの高い静音性(NC25以下※6)で、カメラを気にすることなく、対面でのコミュニケーションの時と同じように振る舞うことが可能※7
- ・コンパクトな筐体と底面のデザインによって、人の入りにくい場所や天井、壁面への設置が可能
- ・映像配信に不可欠なプロトコル、RTMP/RTMPSなどに対応
- ・FreeD※8プロトコル対応なので、AR/VRの撮影が最小限の機材で可能※9

※6) CNS社調べ。

※7) AW-UE20W/KおよびAW-HE20W/Kには搭載していない。

※8) AR/VRシステム用のカメラトラッキングデータを出力するプロトコル。AR/VRの合成などに必要とされるカメラのパン・チルト・ズーム・フォーカス情報を出力する。

※ 9) AW-UE80W/Kのみ FreeD プロトコルに対応している。

3. 導入・設置・運用の簡便性

既存の設備やシステムを活かしたシステム構成が可能

- ・最大 74.1° の広画角と最大 24 倍ズームの組み合わせで、少ない台数のカメラで空間全体も細部も余すことなく撮影可能※ 10
- ・映像を高圧縮して伝送することが可能な NDI®|HX ※ 11 への対応により、大容量の映像でも既存のネットワーク環境で IP 伝送を実現※ 12
- ・対応端子が多く (SDI、HDMI、USB、IP)、PC や様々な AV 機器との連携が可能※ 13
- ・PoE ※ 14 給電と IP 制御・映像伝送の対応により、ワンケーブルで給電・制御・映像伝送を実現し、配線や設置の手間を削減

※ 10) AW-UE20W/K と AW-HE20W/K の最大画角は 71°、最大ズームは 12 倍。

※ 11) ここでの NDI® | HX は High efficiency low bandwidth NDI® | HX を意味します。NDI® とは、NewTek, Inc. によって開発された IP 利用における新しいライブ映像制作ワークフロー支援プロトコル。NDI® は NewTek, Inc. の米国における登録商標。

※ 12) AW-UE80W/K は NDI®|HX に標準対応しているが、AW-UE50W/K と AW-UE40W/K はアクティベートを別途購入する必要がある。AW-UE20W/K と AW-HE20W/K は NDI® 非対応。また AW-UE80W/K は High Bandwidth NDI® にも対応している。

※ 13) USB 端子は AW-UE80W/K には付いてない。また AW-UE40W/K には SDI 端子がない。

※ 14) AW-UE80W/K は PoE++ 対応、AW-UE50W/K、AW-UE40W/K、AW-UE20W/K および AW-HE20W/K は PoE+ 対応。

4. 撮影・管理の負担を軽減する様々な当社製品と連携

撮影・管理を効率化し、利用者の運用負担を軽減

- ・自動追尾ソフトウェア AW-SF100G/AW-SF200G (別売) との連携で、話し手を常に映す臨場感溢れる映像を実現※ 15
- ・最大 200 台のカメラを、専用のリモートカメラコントローラー (別売) ※ 16 や PTZ コントロールセンターソフトウェア (無償) で、一括管理
- ・使い慣れた一般的な赤外線リモコンと同型の専用コントローラー AW-RM50AG (別売) から操作が可能
- ・USB ケーブルが届きにくい天井などの場所にあるリモートカメラを Web カメラとして活用し、オンライン講義システムとも連携可能にするバーチャル USB ドライバーソフトウェア (無償) に対応

※ 15) 自動追尾ソフトウェア AW-SF100G/200G は別途購入の必要があるが、90 日間無料トライアルを実施している。

※ 16) CNS 社製リモートカメラコントローラー AW-RP150G および AW-RP60G をラインナップ

パナソニック株式会社は、日本で初めてテレビ放送が行われた 1950 年代から※ 17、テレビ やデジタルカメラ、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの放送を支えた放送機器まで※ 18、幅広く「映像」の分野に貢献してきました。この長い歴史の中で培われた技術者の高い技術力と映像を扱う人々の可能性を広げたいという熱意によって、パナソニック株式会社のリモートカメラは時代の最先端のリモートカメラであり続けている。次世代の教育現場と企業の映像コミュニケーションに貢献する高い映像クオリティと簡便な機器操作を実現するソフトウェアに支えられたリモートカメラソリューションで、社会の課題を解決し、A Better Life, A Better World を実現するとしている。

※ 17) <https://www.panasonic.com/jp/corporate/history/chronicle/1956.html>

※ 18) <https://panasonic.biz/cns/sav/olympic/>

【概要】

	AW-UE80W/K	AW-UE50W/K	AW-UE40W/K	AW-UE20W/K	AW-HE20W/K
本体色	ホワイト (W) / ブラック (K)				
撮像素子	1/2.5" MOS		1/2.8" MOS		
解像度	4K				HD
光学ズーム倍率	24 倍			12 倍	
水平画角	74.1°			71°	
PoE 給電	PoE++	PoE+			
新ダイレクトドライブモーター	○			-	
画割れ補正	光学式、電子式	光学式			-
映像出力	3G-SDI	○	○	-	○ ○
	HDMI	○	○	○	○ ○
	USB	-	○	○	○ ○
	LAN	○	○	○	○ ○
対応プロトコル	SRT	○	○	○	-
	High Bandwidth NDI®	○ (FHD)	-		
	NDI® HX	○	○ (要アクティベート)		-
	RTMP/RTMPS	○	○	○	○ ○
	FreeD	○	-		
パナソニック製リモートカメラコントローラー	AW-RP150GJ	○			
	AW-RP60GJ	○			
パナソニック製有償ソフトウェア	自動追尾ソフトウェア	○	-		
	ビジュアルプリセットソフトウェア	○			
パナソニック製無償ソフトウェア	PTZコントロールセンター	○			
	バーチャル USB ドライバー	○			
	EasyIP Setup Tool Plus	○			

[放送・業務用映像システム ホームページ URL]
https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav



[各商品ページ]

AW-UE80W/K: https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_remote-camera-system/lineup/aw-ue80

AW-UE50W/K: https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_remote-camera-system/lineup/aw-ue50-40

AW-UE40W/K: https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_remote-camera-system/lineup/aw-ue50-40

AW-UE20W/K: https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_remote-camera-system/lineup/aw-ue20

AW-HE20W/K: https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_remote-camera-system/lineup/aw-he20